

令和7年度

ふくしの心

小学生向け福祉副読本



大 分 市
大分市社会福祉協議会

はじめに

わたしたちの周りには、さまざまな人々が生活しています。

その中には、赤ちゃんや高齢者、健康な人や病気の^{しょう}人、障がいのある人たちがいます。

みんなが幸せに暮らせるまちは、だれもが生きがいを持ち、安心して^{かいてき}快適に、共に生活できる住みよいまちです。

それは、心と心のふれ合う、思いやりとやさしさにあふれるまちでもあります。

そんなまちにするためには、家庭や学校、^{ちいき}地域の中で、みんながおたがいに助け合い、^{ささ}支え合い、はげまし合い、共に協力し合っていくことが大切です。

わたしたち一人ひとりが、どんな気持ちで、どのように行動したらみんなが幸せになることができるのか、いっしょに考えてみましょう。

もくじ

1. 明るい家庭 1
2. ^{こうれいしや}高齢者と共に 7
3. ^{しょう}障がいをこえて 15
4. わたしたちにできること 23
5. ^{ふくし}福祉ってなんだろう 31

あとがき

わたしたち人間は、一人では生きていけません。

共に生きるということは、みんなの幸せを願い、みんなで助け合っ
て生きていくということです。障がいがあるとかないとか、男女、
国^{こく}せきのちがいがあるということなどで差別されることがあっては
絶対^{ぜったい}にならないのです。

すべての人の命は尊^{とうと}いものです。すべての人が幸せに生きる権利^{けんり}
をもっていて、だれもそれをさまたげることにはできないのです。差
別に気がつかなかったり、知らないうちに周りの人の人権を傷つけ
たり、気づかないふりをしたりすることは、「幸せに生きたい」と
いう多くの人の思いや権利をどんなにうばっていることなのか考え
ていかなければなりません。

大切なことは、「共に感じる心」「思いやりの心」「助け合う心」
をみんながもつことです。一人ひとりの苦しみやなやみを、みんな
で助け合い「共に生きる」社会にしようとする気持ち、それが『ふ
くしの心』なのです。

明るい社会を築^{きず}きあげていくために、この福祉副読本『ふくしの
心』を活用し、家庭や学校、地域^{ちいき}で「福祉の輪」がいつそう大きく
広がっていくことを願っています。



編 集	大 分 市 福 祉 保 健 部
	大 分 市 福 祉 事 務 所
	大 分 市 教 育 委 員 会
発 行	大 分 市 社 会 福 祉 協 議 会
	〒 870-0839 大 分 市 金 池 南 1 丁 目 5 番 1 号
	J:COM ホルトホール大分 4 階
	☎ (097) 547 - 8154
印 刷	令和 7 年 4 月 1 日
	い づ み 印 刷 株 式 会 社



学 校 名		
学 年 ・ 組	5 年	組
	6 年	組
名 前		